



出雲小だより 10月号

令和4年10月4日
大田区立出雲小学校
校長 関 真理子



- ① いつでも、どこでも、チャレンジする子
- ② ずっと、なかよし、やさしい子
- ③ もりもり、わくわく、きたえる子

学校ホームページ：<https://www.ota-school.ed.jp/izumo-es/>
住所：〒144-0044 東京都大田区本羽田1丁目2番4号
電話：03(3742)3542 FAX：03(3742)3543



輝く眼 駆ける額の 秋麗(あきうら)

校長 関 真理子

秋晴れの心地よい気候で、のどかな日が続き、子どもたちは、運動会練習や友達との外遊びで、心地よい汗が光っています。全校朝会を通して、子どもたちには、季節の彩りである「秋」を感じようという話をしました。秋の季語である「秋麗」は、台風のあとの秋晴れて、穏やかな日が続き、のどかなことを指します。

時折、校長室前が、にぎやかです。その風景は、「栗」を眺め、触ったり、考えたりしている子どもたちが多くいる姿があります。本校の子どもたちへ、「栗」を見せてと本校職員が提供してくれました。「栗」は、よく食べていて、味や形は知っていても、どのように実り、大きく育っていくのか？本当に本物の「栗」なのか？子どもたちは、興味津々です。



手指で「栗」の感触を確かめながら、「パズルのようだ。」と、実った「栗」の様子を感じ取っていました。農林水産省 HP での「栗」の情報は、以下のとおり。

私たちが食べている部分は、実は種であり、1つのイガには通常3個の「栗」が入っているそうです。「栗」の木は、明治時代に線路の枕木として使われ、固く、腐りにくい材質のため日本でよく使われてきました。「桃栗三年柿八年」と言われるよう、栗の木の成長は早く、すぐに育ちます。樹齢100年で太さが1mを超える巨木にまで成長するそうです。

それぞれの秋を感じながら過ごしている子どもたち、心豊かに大きく育っていくよう、引き続き指導してまいります。

「5・6学年移動図書館、オープン！」

5・6学年教室前廊下に、「移動図書館」がオープンしました。子どもたちに、一冊でも多く、本に触れたり、本を手にとって眺めたり、読みすすめたりすることができることをねらいとしています。図書館や学級文庫だけでなく、ミニ図書館として教室前に向くことで、本との出会いがより身近になり、より多くなります。

身近な本からの出会いは、新しい知識を得て、自らの考えや思いをさらに進化させていきます。「秋麗」の今だからこそ、「秋」を感じる過ごし方工夫することができると思っています。秋の夜長のひと時に、親子で読書、読み聞かせ等、いつもより多く本に触れる機会を増やしてみませんか。

現在、本校では、町会や企業、団体、地域の皆様とともに、健やかな子どもの成長を育む学習をすすめています。たくさんの方々とかかわることで、「お先にどうぞ」と来校されたお客様への気遣いある姿が見られるようになりました。また、子どもたちも励ましの声掛けもいただき、皆様に感謝申し上げます。今後も子どもたちの成長を見守り育ててください。



10月行事予定

※今後の感染状況により、変更になる場合があります。

日にち	曜日	内 容
1	土	
2	日	
3	月	全校朝会(校庭) 教育実習始
4	火	委員会 SC
5	水	体育朝会(1) 午前授業
6	木	運動会係活動(6)
7	金	お話し会 生活科見学予備日(1・2) 出前授業(6) SC
8	土	
9	日	
10	月	スポーツの日
11	火	全校朝会 早寝早起き朝ごはん週間始 クラブ⑨ 運動会全体練習1h SC
12	水	安全指導日
13	木	運動会リハーサル 運動会前日準備
14	金	運動会(児童鑑賞日) SC
15	土	運動会(保護者鑑賞日) 午前授業(給食なし) 早寝早起き朝ごはん週間終
16	日	運動会予備日
17	月	振替休業日
18	火	読書月間始(～11月14日) SC
19	水	音楽朝会 校外学習(5組)
20	木	特別朝会 学校保健委員会 5時間授業 水道キャラバン(4) 工場見学(3)
21	金	お話し会 連合音楽会(5) SC
22	土	
23	日	
24	月	テレビ朝会 全校縦割班遠足
25	火	委員会紹介集会 クラブ SC
26	水	図書委員会集会 全校縦割班遠足予備日
27	木	研究授業(5h 1-3-5-2) 他学級午前授業
28	金	お話し会 社会科見学(6) 教育実習終 SC
29	土	
30	日	
31	月	テレビ朝会 交通安全教室 午前授業

※特別朝会は、(株)京浜理化学工業 佐瀬 都司氏をお迎えして、すてきなお話をお聞きます。

※今月は予告なしの避難訓練があります。

心を育てる「あ・い・う・え・お」

- あ: あっ! そうか! い: いいこと言うね。
- う: う～ん、なるほどね。 え: え? どういうこと?
- お: おっと、そういう考えもあったか!

10月 生活目標

来校者の方々にもあいさつをしよう。すすんで学習の準備をしよう。

人とすれ違う時は、自分から挨拶をしましょう。チャイムの前に、授業の準備をしましょう。



令和4年度 運動会に向けて

体育主任 直井 達哉

10月15日(土)の運動会に向け、子どもたちは日々練習をしています。今年度は14日(金)に全学年の子ども同士で成果を発表し合う機会もあり、全校が一丸となって活動を行います。

3日(月)の全校朝会では、代表運営委員会の運動会スローガン発表がありました。代表運営委員の児童が各学級に働きかけ、取り組み目標の言葉を集め、スローガンを決定しました。今年度のスローガンは、

「一致団結～笑顔、元気の出雲小～」

になりました。今年度も紅白の色分けはしないため、一人ひとりの児童が「一致団結」し、運動技能の向上はもとより、子どもの自主性や相互の信頼関係を高められるよう、指導をしていきます。まだまだ、制限のある開催となりますが、できる範囲で心一つにして、精一杯頑張る児童たちの姿を、温かく見守っていただけたら幸いです。



どうぶつ園のじゅうい

2学年 柴田 佳織

国語科「どうぶつ園のじゅうい」では、説明文から、じゅういさんの仕事やその仕事をする工夫などを読み取りました。「理由」が書かれている言葉を読み取ったり、獣医さんの仕事に対して初めて知ったことなどを毎時間まとめていきました。「どうぶつもくすりをのむなんておどろきました。」「じゅういさんだけでなく、しいくいんさんときょう力するなんてすごい。」と、いろいろな思いができました。1学期よりも、文章から大事なところを読み取る力が付いてきています。



体育・健康教育授業地区公開講座

体育部 直井 達哉

9月10日(土)に、体育・健康教育授業地区公開講座を行いました。今年度は、東邦大学医療センター大森病院病理診断科栃木直文先生に講師として出雲小学校に御来校いただき、講話をしていただきました。今年度も学校公開と兼ねて、ガイドラインに従い、感染拡大防止のため保護者の皆様には、オンラインで参加していただき、一緒に学んでいただく形での開催になりました。栃木先生からは、がんという病気について詳しく教えていただきました。

日本人の2人に1人ががんとされています。がん検診は昔に比べて受けやすくなっているので、こまめな検診をすると早期発見につながります。また、がんになった方に対しては、これまで通りの関わりをすることが大切であるということを教えていただきました。がん予防のためにも、日頃の生活習慣をお子さんと共に見直すきっかけにしていただけると幸いです。



社会科見学に行きました!

4学年 宮崎 有希

9月15日(木)に大田清掃工場と浅草に行きました。清掃工場では、見学中は一生懸命にメモを取り、知り得た情報を吸収しようとしていました。浅草ではグループごとに、台東区観光ボランティアの方々案内をしていただきながら見学を深めていきました。観光面だけではなく、歴史や伝統を守る町づくりや「浅草」について興味をもって学ぶことができました。この学びを総合的な学習の時間「わが町プロデュース」に生かしていきます。



栗粉

<力作そろう!親子でチャレンジ五・七・五>

副校長 小林 正明

夏季休業中に、保護者の皆様をお願いした「夏休みだ!親子でチャレンジ五・七・五」の作品を各教室付近の廊下に掲示しています。昨年度から始めたこの取組も少しずつ浸透し、子どもたちの題材を選ぶ視点や言葉の選び方にも幅が出てきました。また、保護者作品も味わい深いものが多く、綴られた17音の言葉からは、その場の様子が目に浮かび、多様な喜怒哀楽がしたためられていました。後日、本校ホームページにもその一端を掲載していきますので、どうぞ御覧ください。御協力いただき、ありがとうございます。

さて、子どもたちの言葉の力を育てるのは、家庭での会話がカギとなります。子どもたちは、一番身近な人から言葉を学びます。言葉の使い方、表現の仕方などにその人となりが出ていきます。そこから、その人の生き方というのも子どもたちは感じ取ります。話す声の大きさやトーンなども大切です。同じ言葉でも、伝え方次第で受け取る印象は変わっていきます。子どもたちは、今後も言葉を通して、様々なことに出会い、学び、生きていきます。思ったことをうまく伝えたり、知りたいことをより深く理解したりすることができれば、目の前の課題をクリアしたり、チャンスをつかんだりすることもできるようになります。言葉は短期で身に付くものではありません。幼い子どもの頃からの様々な体験や経験と、それらを意識的に言語化することを通してその人の根幹として身に付きます。そして、子どもとの会話は「今」が大事です。話す内容、使う言葉で親としての生き方を伝えていきましょう。